

眼科に通院歴のある患者さんへ（臨床研究に関する情報）

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は診療情報を使って行います。このような研究は、文部科学省・厚生労働省の「人を対象とした生命科学・医学系研究に関する倫理指針」の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされております。なお、この臨床研究は関西医科大学附属病院研究倫理審査委員会の審査を受け、研究方法の科学性、倫理性や患者さんの人権が守られていることが確認され、病院長の許可を受けています。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

《研究課題名》 若年性炎症性結膜母斑の臨床像の解明

《研究機関名・研究責任者》 関西医科大学附属病院・眼科 准教授 佐々木香る

《研究の目的》 若年性炎症性結膜母斑の臨床像と予後を調査し、今後の患者への治療に役立つ

《研究期間》 研究承認日～2024年12月31日

《研究の方法》

●対象となる患者さん

若年性炎症性結膜母斑の患者さんで、2006年1月1日から2022年12月31日の間に炎症性結膜母斑の初回治療を受けた方

●研究に用いる試料・情報の種類

- ✓ 情報：年齢、性別、視力眼圧、前眼部写真、治療内容、治療経過
- ✓ 試料：なし

《外部への情報の提供》

- ✓ 外部への提供：該当なし
- ✓ 外部から研究責任者へのデータの提供：特定の関係者以外がアクセスできない状態で行います。

《研究組織》

- ✓ 共同研究機関：該当なし
- ✓ 研究協力機関：
医療法人出田会 出田眼科病院（熊本）：出田真二

《この研究に関する情報の提供について》

この研究に関して、研究計画書や研究に関する資料をお知りになりたい場合は、他の患者さんの個人情報や研究全体に支障となる事項以外はお知らせすることができます。

《この研究での検体・診療情報等の取扱い》

他の情報と照合しない限り特定の個人を識別することができないように情報を加工し、患者さんの氏名や住所などが特定できないように安全管理措置を講じたうえで取扱っています。

《本研究の資金源・利益相反について》

この研究は外部の企業等からの資金の提供は受けておらず、研究者が企業等から独立して計画して実施しているものです。したがって、研究結果および解析等に影響を及ぼすことは無く、患者さんの不利益につながることはありません。また、この研究の研究責任者および研究者は「関西医科大学利益相反マネジメントに関する規程」に従って、利益相反マネジメント委員会に必要事項を申請し、その審査と承認を得ています。

*上記の研究に利用することをご了解いただけない場合は以下にご連絡ください。

《問い合わせ先》

当院における研究責任者および研究内容の問い合わせ担当者

関西医科大学附属病院

大阪府枚方市 2-3-1

電話 072-804-0101 代表) FAX 072-804-2039

研究責任者：眼科 准教授 佐々木香る